

家庭学習で育てたい力

みんなでやろうぜ！ 家庭学習WEEK -第1回結果報告-

平成28年8月 別海町教育委員会 作成



別海町教育委員会では、昨年度に引き続き、別海町生き抜く力向上策定プロジェクト事業の一環として各学校の自主的な取組が、町全体としての成果につながるよう、「みんなでやろうぜ！家庭学習WEEK」に取り組み、実施期間中に何人の子も達が家庭学習（宿題を含む）に取り組んでいるのか人数を集計し、その結果を多くの方に伝え、子ども達の家庭学習の喚起に努めたいと考えました。

この度、第1回目の実施結果がまとまりましたので、町内のご家庭にお知らせしたいと考え、資料を作成しましたので一読いただければ幸いです。
別海町教育委員会教育長 真籠 毅

- 1 実施期間**
平成28年6月6日（月）～7月22日（金）
のいずれかの五日間（月～金）の取組
- 2 参加校数**
小学校8校・中学校8校 計16校
- 3 参加児童生徒数**
小学校956名 中学校482名 計1438名

- 4 実施結果**

<小学校の提出率>	93.2%
<中学校の提出率>	87.2%
<合計提出率>	91.2%

なお、集計の結果、提出率が100%だった中学校が1校、90%を超えた小学校が5校、中学校が3校でした。



家庭学習の取組においては、各学校で「家庭学習の手引」を作成したり、生徒会活動で取り組んだりしながら意識向上に努めているところです。このような中、何よりも大切にしたいことは、スマホやネットゲームを止めて自主的に時間を決めて取り組む姿勢なので、各ご家庭では内容や時間だけにこだわらず、自らメディアコントロールができるような言葉掛けをお願いします。

生徒に目的意識をもたせる中学校の取組例

A中学校では、7月における全学年の家庭学習時間をまとめたところ、期末テストから少し時間をおいた調査となったことから一時間以上取り組む生徒の数が減少するという結果になりました。

やはり1年間の中で波はありますから、やる時期とあまりやらない時期とがどうしても出てきてしまいます。

しかし、家庭学習で大切なことは「自ら毎日コツコツと努力する」という習慣を定着させるということですから、「怠け癖」だけはつかないようにしてほしいと願っています。

B中学校では、PTAが中心となって「メディアコントロール」と「生活習慣の適正化」を目的に取り組んでいる【家庭生活の約束七か条】において、各家庭でどのような取組になったかの評価を記入する「振り返りシート」を配布して、各家庭や生徒自身が自己評価を行う予定です。

この取組で大切にしたいことは、目標を記入することではなく、＜自分で決めた目標を達成するために、何をしたら＞です。一人一人、しっかり考えていきましょう。

<振り返り用紙>

() 学期の家庭生活を振り返って

() 年 名前 ()

【家庭生活の約束7か条】の自己評価

よくできた…4 ままあできた…3 あまりできなかった…2 ほとんどできなかった…1

(1) 毎朝、決まった時間に自分で起きることができた。	(4 3 2 1)
(2) 朝食は毎朝食べた。	(4 3 2 1)
(3) 学校からの配付物は、その日のうちに渡した。	(4 3 2 1)
(4) 毎日、家庭学習に取り組むことができた。	(4 3 2 1)
(5) 電子機器は時間を守って使用できた。	(4 3 2 1)
(6) 道具の準備は必ず前日のうちに済ませた。	(4 3 2 1)
(7) 毎晩、決まった時間に寝ることができた。	(4 3 2 1)

自己反省（良かった点、改善点）

保護者から一言

※ 月 日 () までに学校担任へ提出をお願いします。